

ひかり その 晃の園だより



普段の暮らし、普段の暮らし、そして時々お出かけ

新緑の色も野山に馴染みはじめ、お茶の収穫もひと段落したこの季節。強い陽射しと共に気温がぐんぐん上がる日もあります。梅雨が来て夏がくるその前に…出かけるなら今がチャンスです。

人の暮らしの大半は、普段の暮らしの積み重ねで出来ていますが、そこに時折のイベントが加わることで、暮らしは更に豊かになります。それは、私たちの暮らしでもそうであると共に、入居者様の暮らしでもまったく同じことが言えます。施設の中で工夫をこらしてイベントを開催するもよし。外に出て地域にある場所を訪れるのもよし。その人に合わせて、その人らしく楽しんでいただいたり、感じていただくことが出来れば良いのではないのでしょうか。そんな方法は色々ありそうです。



みんなウキウキ！

動物園にGO

動物たちを近くに見てわくわく楽しい気持ちになるのは、子供たちだけの特権ではないようです。入居者様は勿論、付添の職員も一緒になって楽しむことができました。動物たちに沢山元気を分けてもらった、動物園めぐりでした。



水墨画鑑賞付きお茶会

絵もお茶も本格派

入居者様が描かれた水墨画の作品展示を鑑賞しながら、お茶を楽しむという贅沢な会が開催されました。

水墨画は、入居者様が活動されていた頃の作品が多数あり、いつかは展示会を…と考えていたのがいよいよ実現しました。お茶を点てる小上がりの床の間や、談話室の壁に展示された水墨画は、どれも本格的なものばかりで、空間の雰囲気を見事に引き締めていました。



本物というおもてなし

本格的なのは水墨画だけではなくありません。ご覧のとおりお茶の会場も抜かりは有りません。しつらえも作法もおもてなしも、全てが本物。いい意味での緊張感も手伝って、お茶の味わいが増しました。

本物だからこそ実現した雰囲気、そしておもてなし。そこには、本物だけがもつ“力強さ”と“やさしさ”が確かにありました。





お香を焚いて気分転換

はっきりしないお天気のある日の午後、気分転換に茶香炉を焚いてみました。お茶の葉の香ばしい香りが食堂に広まり、空気が一変したようにも感じられました。

そんな中での会話は、お茶の話から始まって世間話まで、とても盛り上がりました。これもお香の効果なのかもしれませんね。



春には沢山の花を楽しめる晃の園ですが、そんな中でも桜の花には『咲いて嬉しい、散って寂しい』そんな別格な想いを持たれる方も多いのではないのでしょうか。

フィナーレは八重桜

清響棟の裏や正面駐車場で満開の花を楽しませてくれた染井吉野が散った後、最後に私たちの目を

楽しませてくれるのが、この八重桜です。花びらを豪華に重ね、ボタン桜とも呼ばれるその姿は、春の桜の演舞のフィナーレを飾るにふさわしいものです。



普段の生活から

私たちの暮らしは、なにげない毎日の積み重ねでできています



「いい天気だなあ。外に出てみようか」と、テラスに出たついでに、洗濯物干しを始めました。「今までにもやっていたんだよ」と、男性入居者様も笑顔で手伝って下さいました。自然体で家事が手伝える男性はとても素敵ですね。



昔楽しんだかぎ編みをもう一度やってみたい…そんな入居者様の想いを知ったご家族様が、毛糸とかぎ棒を用意して下さいました。ゆっくりと、ひと編みずつ毛糸を紡ぐごとに、少しづつ昔の思い出にも触れていらっしやるのかもしれません。



5月の初めにきゅうりの苗をバルコニーで育て始めました。苗を植えてから一カ月たち、入居者様と一緒に様子を見に行ってみると、胡瓜が一本なっていました。入居者様も「これはきゅうりだね、すごいね」と喜ばれていました。



晃の園ショートステイ通信



ショートステイご利用中の過ごし方

ご自分だけで出来ることを大切に

先日、利用者様から「いらぬ広告か、新聞紙は無い？」とのお問い合わせがありました。そこで古新聞をお渡ししたところ、てきぱきとゴミ袋を作っていました。

毎日沢山出る洗濯物を畳む時も、手伝ってくださる方が大勢いらっしゃいます。

そんな時の、利用者様がてきぱきと作業をこなす姿は、とても様になって見えます。

また、中にはお一人で読書を楽しまれる方もいらっしゃり、「中々面白いよ」と職員に勧めてくれたりもします。



利用者様それぞれの時間の過ごし方

ショートステイをご利用される皆さんの中で、こういった過ごし方ができる方は限られているかもしれません。でもその方がご自分だけで出来ること、そしてご自分だけで出来る時間の使い方も大切にさせていただきながら、晃の園ショートステイをご利用いただけたならと考えています。

地域を応援！

駿河会の地域貢献事業 in コミュニティスペースはとり

5月は「物々交換会」を開催。ご自宅で使わなくなったお子さんの色々なグッズの交換会を実施しました。



子供たちの居場所作り“きっずびあ”は2度のプレ開催を経て、いよいよ本格始動へ。

6月は「STOP ロコモ」。筋肉や骨などに潜む危険予防に関する情報を提供します。



社会福祉法人駿河会 特別養護老人ホーム晃の園 平成 29 年 6 月発行

〒421-1311 静岡県静岡市葵区富沢 1542-39

電話 054-270-1210 ホームページ : <http://www.surugakai.net/hikari/>